

シンポジウム

1. 新農薬創製に貢献するフッ素ケミストリー

13 : 30～16 : 40

オーガナイザー: 大野 竜太 (北興化学工業 (株))

3月19日(木) A会場 (玉川学園講堂)

S1-1 瀧上 寿雄 (東京工業大学・大学院理工学研究科)

13 : 40～14 : 20

「電解反応による複素環化合物の選択的フッ素化」

S1-2 市川 淳士 (筑波大学・数理物質系)

14 : 20～15 : 00

「フッ素の特性を活用する含フッ素ヘテロ環化合物の選択的合成法」

休憩

S1-3 河田 恒佐 (東ソー・エフテック (株))

15 : 10～15 : 40

「医薬品開発におけるフッ素官能基の導入方法」

S1-4 中野 貴志 (旭硝子 (株))

15 : 40～16 : 10

「旭硝子の含フッ素化合物合成技術」

S1-5 吉田 岳史 (関東電化工業 (株))

16 : 10～16 : 40

「有機化合物のフッ素化技術とその応用」

2. 病虫害防除にまつわる諸問題

13 : 30～16 : 30

オーガナイザー: 寺岡 徹 (東京農工大学)

3月20日(金) A会場 (玉川学園講堂)

S2-1 大矢 武志 (神奈川県農業技術センター)

13 : 40～14 : 20

「ウイルス媒介性微小害虫の防除～農薬処理の方法とタイミング～」

S2-2 古味 一洋 (高知県農業振興部)

14 : 20～15 : 00

「高知県における土着天敵を活用した害虫防除について」

休憩

S2-3 橋本 良子 (首都大学東京)

15 : 10～15 : 50

「土壌残留農薬「ドリノ剤」を巡る攻防～公設農業研究機関の役割～」

S2-4 藤村 真 (東洋大学・生命科学部)

15 : 50～16 : 30

「パイロシーケンス法を用いた圃場単位の殺菌剤耐性菌の分布解析
—キュウリ病害を例として—」